【基礎的な問題(易)】

次の文は近世ヨーロッパ世界の展開について、述べたものです。文章を読んで、下線部①~⑩について各問いに答えなさい。

ョーロッパは15世紀後半から政治・経済・社会・宗教・文化などのあらゆる側面で、近現代の世界に直接つながる新しい動きが目立つようになりました。この時代は近世、あるいは初期近代と呼ばれ、おおよそ18世紀後半まで続きました。

近世のヨーロッパでは、①<u>カトリック教会</u>や②神聖ローマ帝国がかつてもっていた普遍的権威が動揺した。諸国は自国の利害を求めて戦争と妥協をくり返し、恒常的な緊張状態にありました。③近世の新<u>しい戦争</u>は、それまでの軍事組織や制度を一変させました。増大する兵員と軍事費の調達のため、各国は徴税機構を中心に官僚制を備えた行政組織を整備し、国内の統一的支配を強める必要がありました。この過程で多くの国は、自己の支配領域を明確な国境で囲い込み、国内秩序を維持強化して、外に対しては主権者としての君主のみが国を代表する体制を築くようになった。こうした国家を主権国家といい、近代国家の原型となりました。

主権国家の形成期に、 \oplus <u>スペイン</u>・ \oplus <u>フランス</u>・ \oplus <u>イギリス</u>などでは、 \oplus <u>絶対王政</u>と呼ばれる国王を中心とした強力な統治体制がうまれました。

近世ヨーロッパに誕生した主権国家は、極めて多様で、たがいに対立と妥協を繰り返しながら一つの国際秩序を形成していった。これを<u>®主権国家体制</u>と呼ぶ。16世紀にはスペインが全盛であつたが、ヨーロッパ全体が危機の時代を迎えた17世紀前半には、あらたに<u>⑨オランダ・⑩イギリス・フランスなどの国々が有力となりました。</u>

- 間1 下線部①に関係の深い出来事で15世紀におきたものを選びなさい。
 - あ クレルモン宗教会議
- い コンスタンツ公会議
- う 教皇のバビロン捕囚
- え アナーニ事件
- 間2 下線部②に関係の深い出来事で15世紀におきたものを選びなさい。
 - あ カノッサの屈辱 い ワールシュタットの戦い う 金印勅書の発布 え フス戦争
- 問3 下線部③について述べた文として最も適しているものを選びなさい。
 - あ 鉄製の弩 (クロスボウ) が発達し、格段に威力が向上した。
 - い 戦闘用二輪馬車が出現し、敵陣に切り込む戦術が生まれた。
 - う 歩兵が小銃を持って、集団を構成し、進撃する戦術が生まれた。
 - え イングランド (現在のイギリス) で長弓 (ロングボウ) を利用した戦術が発展した。
- 問4 下線部④に関連して、スペイン=ハプスブルク家のカルロス1世が1519年に即位した地位を選びなさい。
 - あ イタリア王 い フランス王 う ベーメン王 え 神聖ローマ皇帝
- 問5 下線部⑤に関連して、アンリ4世に始まるフランスの王朝を選びなさい。
 - あ ブルボン朝 い カロリング朝 う カペー朝 え ヴァロワ朝
- 問6 下線部⑥に関連して、エリザベス女王の治世下に**おきた出来事に該当しないもの**を選びなさい。
 - あ アルマダ海戦 い アイルランド征服 う 東インド会社設立 え 統一法制定

- 間7 下線部のに関連して、絶対王政を正当化した政治思想を選びなさい。
 - あ 啓蒙思想

- い 自然法思想 う 社会契約説 え 王権神授説
- 問8 下線部®に関連して、1648年に結ばれた三十年戦争の講和条約でこの政治体制は確立したとされ るが、この条約名を選びなさい。
 - あ ウェストファリア条約 い ユトレヒト条約

う パリ条約

- え カトー=カンブレジ条約
- 問9 下線部⑨に関連して、全盛期を迎えたオランダは学芸も盛んで、豊かな市民が文化の担い手とし て大きな影響力を持つようになった。「光と影の画家」とも呼ばれたオランダ画派の代表的画家を 選びなさい。
 - あ ブリューゲル い ラファエロ う ジョット え レンブラント
- 問10 下線部⑩に関連して、17世紀前半のイギリスの状況の説明としてあてはまるものを選びなさい。
 - あ イタリア戦争に参戦した。
 - いサンバルテルミの虐殺がおきた。
 - う 権利の請願が議会で議決された。
 - え 三部会招集を停止した。

解答

問1	問2	問3	問4	問 5	問6	問7	問8	問 9	問10
٧١	え	う	え	あ	V	え	あ	え	う

各 2 点×10 計 20 点